

令和元年度
9月補正予算主要事業の概要
(事業別説明資料)



HIDA CITY
飛驒市

目 次

(総務部)

新規 地域防犯環境の向上	1
---------------------------	---

(市民福祉部)

新規 減塩調味料の普及促進	2
----------------------------	---

(商工観光部)

新規 宿泊施設立地促進補助制度の創設	3
---------------------------------	---

新規 飛騨古川まつり会館の展示装飾リニューアル	4
--------------------------------------	---

新規 地域防犯環境の向上

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
156	一般財源	156
		補助金
		156

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

市では、行政区等が実施する防犯環境の整備に対し、既存防犯灯のLED化の費用や、防犯灯の維持管理費を支援することで、地域の防犯力の安定を図ってきました。しかし、小規模な行政区では戸数が少なく、一戸当たりの負担が高額となるため防犯灯の設置費用への支援を希望する声があります。

このことから、行政区等が新たにLED防犯灯を設置する際の費用を支援し、地域の防犯環境の向上を図ります。

3 事業概要

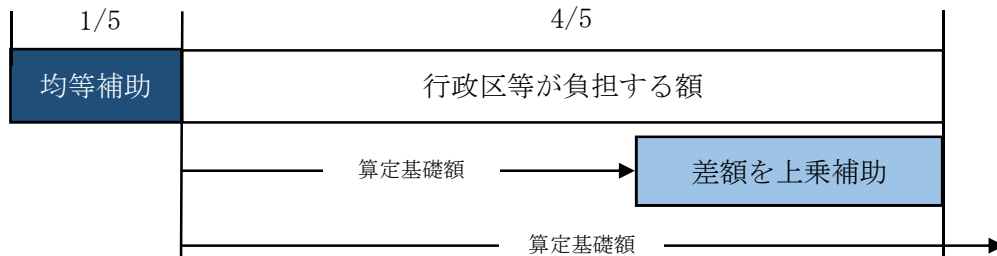
○ 防犯灯設置補助金

行政区等が新たに設置するLED防犯灯の設置にかかる費用の一部を補助します。なお、小規模行政区でも各戸の費用負担が大きくなるように、上乘せ分を設けます。

(補助額) 均等補助：設置費用の1/5

上乘補助：算定基礎額^(※)が設置費用の4/5を下回った場合、その差額分を更に上乘せで補助

※ 算定基礎額 定額(10,000円) + 世帯数 × 設置費用の1%



算定基礎額が設置費用の4/5を超えた場合、上乘補助はありません

(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 1 一般管理費
所 属	総務部総務課 TEL0577-73-7461	予算書 P.16

新規 減塩調味料の普及促進 ～減塩チャレンジプロジェクト～

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
600	一般財源	600
		物品借上料 200
		食糧費 183
		その他 217
(現計予算 0)		

2 事業背景・目的

市では、高血圧の方が県内でも多いという現状から、平成30年度に「減塩チャレンジプロジェクト」を開始し、乳幼児期と青年期前半を重点に、塩分測定・指導や健康診断の対象年齢を拡大して、生活習慣病予防に取り組んできました。その中で、3歳児から中高生、若者、壮年期の尿中塩分を測定した結果、いずれの年代も塩分を取りすぎていることが明らかとなっています。

しかし、日頃の食生活をすぐに変えることは難しく、今まで通りおいしく食べながら減塩するためには、普段使う調味料「しょうゆ」を減塩タイプに交換する「こっそり減塩」が有効であると考えられています。

このことから、厚生労働省が推進する「おいしく減塩1日マイナス2g」を目標に、市民が日常的に食品を購入する市内の小売店等を対象として減塩食品に関する講演会を開催し、減塩しょうゆの取り扱い店舗の増加を図ります。

3 事業概要

○ 「減塩食品に関する講演会・フォーラム、試食会」の開催

- 【日 程】 令和2年1月11日（土） 開催予定
- 【会 場】 古川町公民館
- 【対 象 者】 市内の小売業者や商業関係者ほか、食に関係する方々100人程度
- 【講 師】 日本高血圧学会 減塩委員会アドバイザー 野村 善博 氏
- 【パネリスト】 飛騨市長 飛騨市腎臓を守る会会長 飛騨保健所長

(款) 4 衛生費	(項) 1 保健衛生費	(目) 3 生活習慣病対策費	
所 属	市民福祉部市民保健課 TEL0577-73-2948	予算書	P. 21

新規 宿泊施設立地促進補助制度の創設

(商工業活性化包括支援事業)

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
7,000	ふるさと創生基金 4,570	補助金 7,000
〔 商工業活性化包括 支援補助金の内数 〕	一般財源 2,430	
(現計予算 20,000)		

2 事業背景・目的

近年、市内では個性的で和の風情が感じられる1棟貸しのゲストハウスなど小規模な宿泊施設の開設が盛んに行われており、令和元年8月現在では10棟のゲストハウスが開設され、更に4棟が計画中となっています。これらを利用した外国人宿泊客数は平成28年度の399名から平成30年度には4,020人と飛躍的に増加しており、宿泊施設が少ない当市においては、訪日外国人を含めた観光客の受け皿として欠かせないものとなりつつあります。

また、これらの多くは市街地の空き家を改装した物件であり、食事の際は市内の飲食店を利用していただくことから、こうした施設が増加していくことで空き家の解消と地域経済の活性化に大きく貢献していくものと期待されます。

このため、宿泊施設の設置に特化した新たな支援制度を創設し、更なる宿泊施設の進出を図ります。

3 事業概要

○ 宿泊施設立地促進補助金

市内の宿泊施設の増加を図るため、商工業活性化包括支援事業における新たなメニューとして「宿泊施設立地促進補助金」を創設します。

(対象者)

市内で宿泊施設を新たに設置しようとするもの

(支援内容)

- ・ 宿泊施設の開設に要する費用

補助率：1棟あたり2/3以内（上限150万円、一事業者につき年度あたり4棟まで）

- ・ 事業拠点となる店舗等の賃借料

補助率：1/3以内（上限20万円/年・支援期間24ヵ月）

(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課 ☎0577-62-8901	予算書 P.23

新規 飛騨古川まつり会館の展示装飾リニューアル

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
114,000	国庫支出金 52,700	工事請負費 96,000
	合併特例債 56,900	委託料 18,000
	一般財源 4,400	
(現計予算 0)		

2 事業背景・目的

飛騨古川の観光の要である飛騨古川まつり会館は、開館から26年に渡って展示内容や装飾等に手が入っておらず、展示物の劣化も目立ってきていることから、平成30年度に古川祭関係者の様々な意見を取り入れた「飛騨古川まつり会館展示装飾リニューアル計画」を策定しました。この度、国の地方創生推進交付金の採択を受け、令和2年4月のリニューアルオープンに向けた改装工事を実施します。

今回のリニューアルでは、博物館的機能の強化を目的の一つとし、古川祭が形成してきた生活文化や街並みの再現に重きを置いた展示とすることで、再び観光客や地元住民が広く集まれる施設へと再生し、まちなか周遊における滞在時間の延長と観光消費額の増加に取り組みます。

3 事業概要

① 飛騨古川まつり会館展示装飾リニューアル工事 (96,000千円)

館内の展示スペースを古川祭当日のまちなかの雰囲気が体感できる展示装飾へリニューアルし、来館者に古川祭の多様な魅力を強く訴求できるよう整備します。



② 飛騨古川まつり会館 PR コンテンツ作成 (18,000千円)

展示装飾のリニューアルに併せて、館内の音声ガイドや展示物のキャプション、デザインといったソフト面のコンテンツ制作を行うとともに、ホームページやパンフレット等の刷新を図ります。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課	TEL0577-73-7463	予算書	P.23	